

教育目標	取組み	評価の観点	(参考数値)	前期の取組み	後期への課題
生徒の学力向上 (重点目標)	生徒の家庭学習時間の増加 教員の指導力向上と授業改善 教科における課題の明確化と解決に向けた計画的な取組み SSH、生徒による授業評価、自反会(土曜講座)、授業シラバスの活用	生徒の学力が向上したか 生徒の満足する授業、知的探究心を喚起する授業ができたか 家庭学習時間の増加が図られたか 生徒による授業評価に基づく授業改善がなされたか 各教科の課題が解決されたか 自反会の目的が達成されたか シラバスの整備と活用が図られたか	生徒学習状況調査 試験成績(模試、センター試験) 生徒による授業評価 生徒自反会満足度調査	[取組み] 観点 家庭学習の大切さの意識付けをめざし、家庭学習時間の調査を全学年で実施。 [取組み] 観点 各学年の状況に応じた活動が行われた。 [取組み] 観点 大多数の教科、科目でシラバスを整備した。 [取組み] 学年集会、進路講演会、HR等を通じて家庭学習の定着を図る。 [取組み] 3年信大教育学部説明会(6/11) 信大医学部説明会(6/15) 小論文ガイダンス 模試(7/14) 難関大入試研究会(7/23) 信大入試研究会(7/24) 金曜テスト(数 国)の実施。補習の実施(夏休み、秋の放課後補習)。 [取組み] 家庭学習時間を一層増やし、学力の定着と向上のために予習 復習の励行と自学自習教材の提供や放課後等を使って個人の質問時間の確保等。 [取組み] 宿題、課題の点検をこまめに行い、家庭学習の確保を促した。 [取組み] 生徒による授業評価実施(9月)。今後の教科指導に生かすべく、その結果を各教科で検討。 [観点] 特色ある学校づくりに向けた、ビジョン委員会における研究。 [取組み] 観点 [自反会] (自習室)を整備した。	[取組み] 観点 家庭学習時間が絶対的に不足しているものが多い。また、やる者ややらない者の格差が大きくなっている。HRでの意識付けと、やらざるを得ない教科指導が望まれる。 [取組み] 観点 本格的な実施は後期からである。 [取組み] 観点 活用面で研究が必要。 [観点] 模試等で学力不足が指摘されている。高校生活の基本が学習であることを再確認する必要がある。 [取組み] 取組みや学力の定着に個人差が大きいため、補習、個人指導等をさらに取り入れる。 [取組み] 上位者をさらに伸ばす指導。 [取組み] 提出物の期限提出を徹底。 [観点] 充実した調べ学習の実施指導。 [取組み] 各教科と連携しながら、家庭学習の確保を促す。 [観点] 授業の進度については、生徒の予習を促すとともに、生徒個々にきめ細かく対応する。 [取組み] 観点 家庭学習1時間未満の者を減らすために努力。
SSHに向けた学校全体の取組み	理数を中心に、高度な科学的思考力を育み学力を高めるための指導方法等の開発 理数に重点を置いた教育課程の導入(2,3年) 大学、企業との連携 「清陵サイエンスフォーラム21」の開催 科学系クラブ活動の振興 国際性を育む	理数を中心に各教科で指導内容・方法の研究開発に取組み、校内で組織的に研究が推進されたか 生徒の自然科学に対する興味・関心を高め、学習意欲が向上する取組みであったか 生徒の満足度を高める取組みであったか 連携を効果的に果たしたか	SSH意識調査 各事業終了後の生徒充実度調査	[観点] 課題探究発表会およびポスターセッションにおいてSSH課程生徒が研究成果を発表。海外科学セミナー報告会を2,3年合同で開催。ALTによる科学英語入門の実施(科目「スーパーサイエンス」)。「信州大学自然史科学館」において科学系クラブが研究成果を発表など。 [観点] サイエンスフォーラム「月と私たちの未来」の実施。遺伝子操作体験学習「など大学 企業等と連携して10講座以上を実施。	[観点] 2年S講座の更なる学力向上。 [取組み] 課題探究学習を進めるにあたっての理科 数学科 英語科の効果的な連携。 [取組み] 学習指導における興味関心や女性科学者の育成、生徒の進路実現の支援、学力向上等、さまざまな観点をふまえての指導方法の確立に向けた取組み。 [観点] [1年]文理選択を機にSSHへの志向を高める。
主体的な進路選択と進路実現の支援	合同HR、講演会、自反会交流会(先輩外部講師)等による進路意識の向上と進路研究への支援 実力テストや校外模試の分析と事後指導 生徒 保護者、職員への進路情報の還元 指導の継続及び改善のための進路係と各学年間の連携	生徒の進路意識を向上させ主体的な進路選択ができるような取組みができたか 生徒の自己目標実現のための指導に十分取組めたか 実力テストや校外模試が有効に活用されたか 進路情報が生徒、職員に適切に伝えられたか 進路係、各学年間の連携が十分に図られたか	大学合格状況 実力テスト及び模試の検討会回数 生徒満足度調査	[取組み] 観点 夏休みに大学見学会を実施。82名参加。参加生徒評価「参考になった」92%、「参考にならなかった」7%。 東大 高校生のための金曜特別講座 受講開始。 [取組み] 観点 2,3 卒学年職員が進路室に常駐し、日常的な情報交換ができた。 [取組み] 観点 [3年] LHR(4/24)、夏(7/12)での受験への意識付け。進路通信の発行(N of ~ 前期分 N of 5)。進路希望調査(Q回)の実施。自習室の開放(平日~18:00、土曜日~16:00)。 [取組み] 観点 [1,2年]外部模試、進路講演会などで早い時期での進路意識、目標設定をすすめた。 [取組み] 観点 教科として実力テスト、校外模試等の解説等実施。 [観点] 担任を中心に進路意識の向上(自己目標の設定)と実現のためのアドバイス等をした。	[取組み] 観点 全学年職員が常駐できる進路室スペースが望まれる。 [取組み] 観点 文理選択(1年)、3者懇談(1,2,3年)を機に、意識の向上をはかる。 [取組み] 観点 上位者をさらに伸ばす指導。
学友会の自主的活動支援とクラブ活動の活性化	顧問の適切な指導活動の保障	学友会活動を自主的に推進するための指導ができたか クラブ活動の時間、場所を保障し適切な指導ができたか	クラブ加入者数 生徒満足度調査	[観点] 行事を主に、生徒を中心とした学友会活動が企画運営されるような指導。上下履きの区別、ゴミの分別については、ほぼ対応できた。 [観点] 積極的な参加を促し、クラブ加入者数は多く、取組みもよい。休日を含めたクラブ活動の時間場所はおおむね保証されている。 [取組み] 観点 クラスマッチ、文化祭を生徒が自主的に運営できるように協力できた。	[観点] 係、学年、学友会の連絡の緊密化。より自主的な活動への指針の提示。 [観点] 来期につながる練習方法の実施。 [取組み] 観点 顧問の積極的な指導参加を促す。 [取組み] 観点 家庭学習とクラブ活動の両立。 [取組み] 観点 クラブ活動終了後の戸締まり指導。
自主・自立性に基づく「清陵生としての自覚」を高める指導	学友会の諸機関と協議して、生徒に自ら考えさせる指導 学校生活におけるモラルの向上	学校生活の様々な場面において適切な指導ができたか 学友会へ効果的な指導助言ができたか 生徒の自主・自立性を尊重した指導ができたか		[取組み] 指定上履きの導入から2年が経過し、上下履きの区別がしっかりしてきた。 [観点] HRや学友会を通じた、自覚を促す指導。地区PTAにおける、保護者への協力依頼。 [観点] 学友会の諸行事に対する、役員の見解を尊重しながらの、適切なアドバイス。 [観点] 清陵祭、端艇大会、クラスマッチや湖周マラソンの、生徒を中心とした自主的でスムーズな実施への支援。 [取組み] 清掃指導、上下履きの区別等の指導を通じ、校内美化の推進をはかった。 [取組み] 「コモン」(中庭)の整備。	[観点] 生徒の生活全般の気のゆるみに対する指導。遅刻者に対する指導。携帯電話の適切な扱いへの指導。 [観点] 校内での健全で安全な生活の為に、教職員と生徒の協力。 [取組み] 交通法規や電車内でのマナーを守ることへの指導。研修旅行を通じたモラルの向上と自主性を向上させる取組み。
前期選抜の改善と広報活動の充実	前年度の反省をふまえた前期選抜の改善 HPの充実と校内運営体制の整備、広報誌「清水ヶ丘便り」の充実、学校案内ビデオ・パンフレット作成、中学校訪問 授業公開日の適切な設定	わかりやすい選抜基準であったか 本校、受検生双方に有益な選抜となったか HP、清水ヶ丘便り等は充実していたか 本校の教育活動を保護者、中学校、地域住民等に十分に伝えられたか	HP更新回数 広報誌発行回数 授業公開来校者数	[取組み] 前年度の反省をふまえ、よりよい選抜問題作成へ努力。 [取組み] 観点 公開授業通し中学生へ本校へ興味関心の喚起。(第1回5月19日(土)約160名来校。第2回10月13日(土)約80名来校。) [取組み] 観点 [清水ヶ丘だより]発行(9月17号)。学校案内パンフレットの作成。 [取組み] 観点 HPの計画通り更新。 [取組み] 観点 昨年度に引き続き中学校訪問の時期を早めて、8月下旬から9月上旬にかけて実施。	[取組み] 観点 前期選抜の改善に向けた取組みの継続。 [観点] 高校側と中学校 保護者側との相互理解を深めるための、中学校訪問のありかたの模索。 [取組み] 授業公開の日程等の検討。